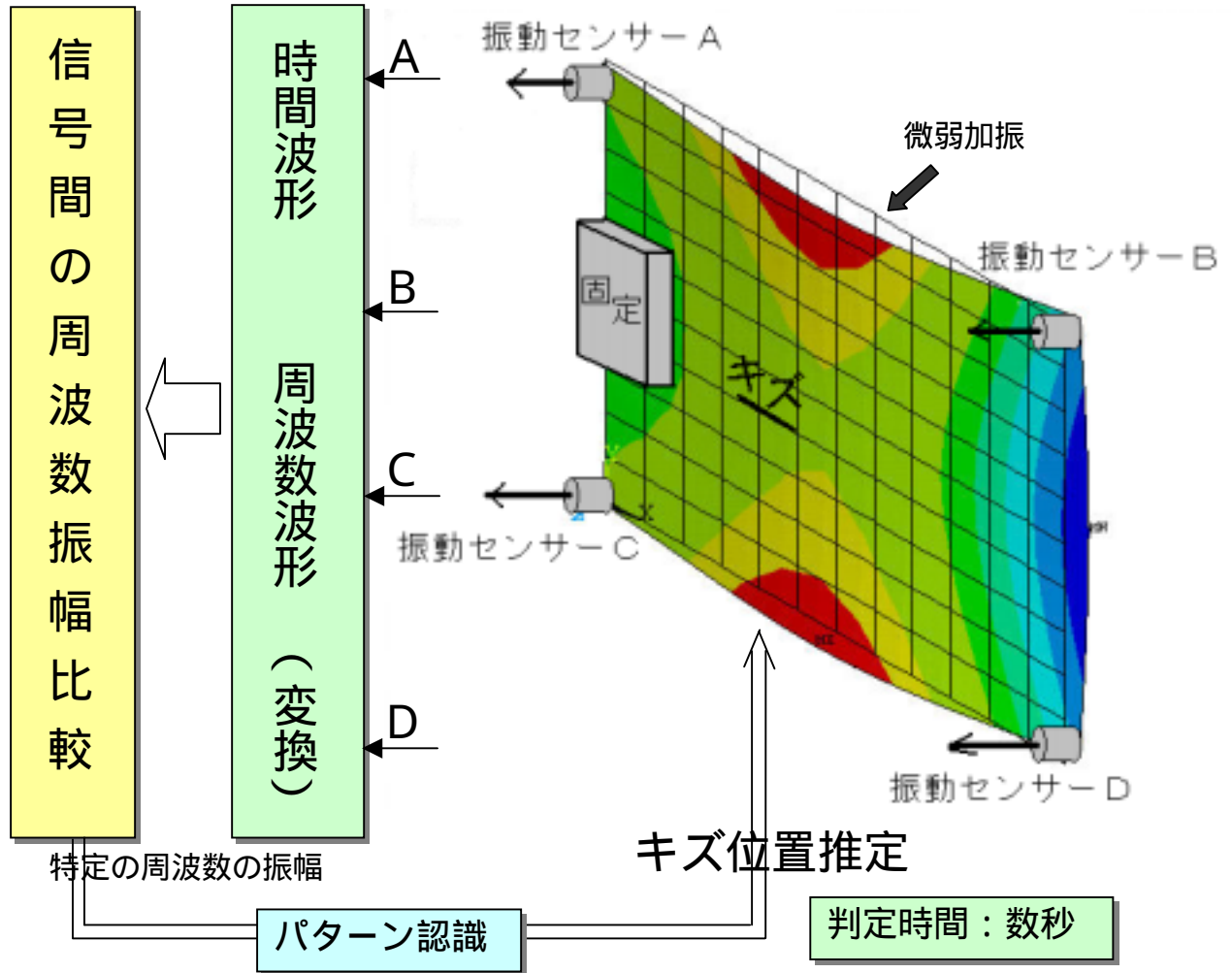


# 振動でキズを発見

ガラス製品等の品質検査は目視検査が主流です。これを高速化・省力化するために、製品に微弱な振動を与え、その応答を分析することにより、短時間でキズの位置や大きさを推定する技術を研究開発しています。



振動法によりキズの大まかな位置が特定できれば、CCDカメラによる検査時間を大幅に短縮できます。また、外見検査では分からない内部欠陥や材料異常についても知ることができます。

適用： 平板材（ガラスや鉄、アルミ、鋳物製品等）の検査

センサー利用微細欠陥自動検出技術開発研究

担当者：愛媛県工業技術センター 主任研究員 仙波 浩雅